

学校だより 6月号

令和8年6月1日発行

和歌山市立 楠見東小学校

一学期折り返しの時期です

新年度が始まって2か月が経とうとしています。1年生の子どもたちの登校する姿は足取りもしっかりとし、ますますたくましく成長していると感じています。また、2年生から6年生の子どもたちには、一つ上のお兄さん、お姉さんとしての自覚と成長が確かに実感できます。



5月は主にスポーツテストと春の遠足がありました。スポーツテストでは、ペア学年の上の子が下の子に優しく教えている姿や、1年生が新しいことにチャレンジする姿が見られました。これらを通して、異なる学年の子どもたち同士が関わり合いながら成長していく姿は、見ていてとても頼もしいものです。春の遠足では、新しい仲間とともに素敵な思い出を紡ぐことができました。このように、子どもたちは互いに刺激し合い、優しさや責任感を確かに育んでいます。

雨の季節、静かな学びの時間を

さて、いよいよ6月に入り、雨の日が続く季節がやってきます。この梅雨の期間は、じめじめとした暑さと雨で気持ちも重くなりがちですが、同時にとても大切な季節でもあります。自然界にとっては、この雨は生命を育む「恵みの雨」です。そして学校生活にとっても、活発に動き回った4月・5月から一歩立ち止まり、落ち着いて自分自身と向き合う「心の恵みの期間」にできると考えています。



外遊びができない雨の日は、教室や図書室で静かに本を読んだり、友達と机を囲んでじっくり対話をしたりしながら、教室内での過ごし方を工夫する絶好の機会です。晴れの日には気づかなかった友達の良さを発見したり、自分の考えを深く掘り下げたりする、そんな「静かで深い学びの時間」を大切にしていきたいと思います。

一方で、雨の日の校内は視界が悪くなったり、廊下が滑りやすくなったりと、安全面での配慮もより一層必要になります。また、気圧や気温の変化から、体調や気持ち不安定になりやすい時期でもあります。だからこそ、学校では子どもたち一人ひとりが「ほっと安心できる」環境づくりを心がけてまいります。ご家庭におかれましても、雨の日の安全な登下校への声かけや、体調管理にご協力をよろしくお願いいたします。

しっとりと降る雨のように、子どもたちの心に寄り添い、丁寧に向き合う1か月にしていきたいと思います。今月もどうぞよろしくお願いいたします。



(校長 岩崎 新太郎)